

## News ①

## 桜咲く4月に 中学校、高等学校、大学で 入学式が執り行われました！

2018年4月8日、跡見

講堂にて跡見学園中学校、高等学校の入学式が行われました。

春のうらかな日差しの中、中学校へは183人、高等学校へは232人が入学。式では、「人との関わり方を大切にし、たくさんの考え方を受け止めること。そして、日々学び、考える力を育んでいきましょう」と松井真佐美校長から激励のことばが送



新入生代表スピーチも行われ、新たな誓いを述べました。  
(中学校)

られました。

跡見学園女子大学では、ソメイヨシノやサトザクラなど、色とりどりの桜が咲き誇る4月3日に入学式を挙行しました。今年度より心理学部を加えて4学部となった大学では、学部新入生1143名、編入学生3名、大学院修士課程1年生17名が入学。喜びと期待を胸に、新たな生活への一歩を踏み出しました。



新しいスーツを身にまとい、緊張した面持ちの新入生。  
(大学)

## News ②

## 心理学の未来を討論する シンポジウムが文京キャンパスで 開催されました！

跡見学園女子大学では、多様

化・複雑化する心の問題に対応する学生を育てるため、2018年4月に「心理学部」をスタート。その設立を記念して、5月20日（日）、「跡見学園女子大学と臨床心理学―その未来へ」が文京キャンパスにて行われました。

当日は心理学部の教員を含む約100名が参加。日本の臨床心理学界で活躍されている平木典子氏（元跡見学園女子大学大

学院教授、現跡見学園理事、現

IP統合的心理療法研究所顧問）、鶴光代氏（元跡見学園女子大学教授、現東京福祉大学教授、現日本心理臨床学会理事長）、野島一彦氏（跡見学園女子大学心理学部長）がシンポジストとなり、跡見学園女子大学と臨床心理学の未来について熱い議論を展開。心理支援の重要性を改めて考え直し、跡見学園女子大学心理学部の大きな発展を予感させる会となりました。



国家資格「公認心理師」推進運動を牽引する先生方が登壇。



心理支援の動向について真剣に耳を傾ける参加者。